

# 協働の まちづくり

## ニュース

Vol. 19  
2013.3 月号



### ブルーベリー苗木を植栽～塩見まちづくり協議会

日向市と宮崎大学は、近年その機能成分が注目される「ブルーベリー葉」の実証ほ場を塩見権現原に設置し栽培を始めました。今後、このほ場は、塩見まちづくり協議会が事業運営主体となって管理していくこととなります。写真は、平成24年11月25日に、日向市、宮崎大学及び塩見まちづくり協議会の共同作業にて実施したブルーベリー苗木の植栽の様子です。この日は、17アールのほ場に約7,000本の苗を植え付けました。



- P 2～5 特集／新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業  
○モデル3地区・東郷地区の取り組みを振り返って
- P 6 協働へのアプローチ／市民まちづくり支援事業
- P 7 連載／おらが村（区長インタビュー・梶木区）
- P 8 「お知らせコーナー」





HOSOSHIMA  
まちづくり協議会会長  
三輪 俊一 さん

モデル事業3年間の取り組みで、細島が大きく変わろうとしている。私は人づくりが出来ればまちづくりは出来ると思っている。協議会の組織編成は、東西の太鼓台関係者を軸に結成したもので、太鼓台は担ぎ手だけでは盛り上がりが見守っているギヤラリーと一体化してこそ、まちづくりも運営する側と地元住民の方々が一体化すれば、将来が見えてくると思う。活動は5部会の部長を中心し、順調に進められているが、来年度からは中期計画を策定し、計画的な活動を行っていく予定である。協議会の活動財源は市から年間100万円の交付金を3年間いただいたが、これを細島住民一人あたりに換算すると年間約460円余りである。私は、協議会の活動はこの額以上の効果があったと自負している。今後協議会メンバーをはじめ、地元住民並びに多方面からの指導ご協力をいただきながら、「歴史に潮風が香るやすらぎの港町・細島」づくりに全力投球していきたい。



副会長  
児玉 広美 さん

「感謝」の反意語は「あたりまえ」だそうです。一人ですることには限りがありますが、人が集まることによつてできることの大きさを感じました。私はまちづくりに関わることが出来て、改めて感謝する心を持つことができました。



事務局次長  
河野 豊 さん

世代を超えて地域のいろんな人と一緒にボランティアできて充実。お互いかしこまらない「ゆるい」連携で気軽に参加できてとてもいい雰囲気です。



青少年育成部会長  
河野 喜一 さん

手探りながら部会員の協力のもといろいろと活動できました。特に、これまで2回開催した「細島芸術祭」は協議会の一大イベントとなりました。これからも微力ながら細島地区の活性化に携わっていければ幸いです。



生活環境部会長  
依 兵蔵 さん

不法投棄の看板設置、ごみ拾い、清掃、まちあるきを実施して参りました。地域の活動を通し、皆と楽しく交流できたと思います。今後は、今までの事を継続しつつ、「庚申様」を重点的に活動していきたいと思っております。



福祉・健康部会長  
上村 正子 さん

福祉という重い課題に、経験者のアドバイスを受け高齢者の多い細島なりの活動をしてきました。歩みはゆっくりですが、長く続けていけたらと思っています。



地域活性化部会長  
松葉 藤吉 さん

まちづくり事業に携わったの感想。それは、若者からお年寄りまで地域の幅広い方々とより深く、より親しく、より気軽に話ができるようになったことです。



公民館活動部会長  
伊森 参議 さん

細島の宝である子どもたちが、放課後に安心・安全、そして楽しく過ごすことのできる「魚(いよ)っ子クラブ」を立ち上げ、継続できていることが嬉しいです。

【HOSOSHIMAまちづくり協議会～これまでの主な活動事業】

- ① 桜ヶ丘公園整備(竹切り、除草、桜等苗木植樹)
- ② 緊急時災害連絡調査票、災害時避難所・避難場所マップの作成(全世帯配布)
- ③ 意見箱「なんかねどかい」の設置
- ④ 自主財源事業活動(市からの受託事業:桜ヶ丘公園及び黒田の家臣トイレ管理)
- ⑤ 細島小学校に放課後子ども教室(魚っ子クラブ)開設・運営
- ⑥ 県内外からの視察研修受入(9団体265人受入れ)
- ⑦ 各部会活動



平岩まちづくり  
協議会会長  
司 前 哲郎 さん

少子・高齢化や核家族化が進み、家族間・地域間の支えあい、助け合い、絆が希薄化してきている昨今、地域で何がしかの支援ができないかということと、協議会を立ち上げました。

協議会では、設立する前に平岩全地区で開催した地区座談会や、地区住民全員を対象としたアンケートなどでいただいた貴重なご意見を基に、事業を行ってまいりました。

例えば、「新鮮な野菜、魚が豊富。花栽培が盛ん。日曜市の開催」というご意見がありました。そこで、朝市を開催してみようと思いました。そこでは、地域の生産者の元気だけではなく、人との出会い、ふれあいが交流の場で親睦が生まれ、賑わいが創出されました。

今後も、皆さんが「今一歩、踏み出す勇氣」を持って協議会活動に関与し、「安心・安全で住みよいまち」を築いていくと思える平岩づくりを目指して、一緒にまちづくりを推進していけたらと思います。



副会長  
松葉 範比古 さん

行事を消化するための活動から、今後は今まで以上に地域の学校や高齢者クラブとの連携を強化して、子供や高齢者の方々が主役となるような活動をしていきたいと思っております。



副会長  
甲斐 敏彦 さん

これまで平岩地区にあった団体との連携が深まり、地域の可能性を大きくしたと思います。これからは、これらの団体の歴史的背景を理解し、更に連携を深めていきたいです。



教育・文化委員長  
兼 事務局次長  
甲斐 靖朗 さん

活動を通して実行力や協働の大切さ、そして、地域の良さ・可能性に気付くことができた。

「平岩って素敵だね」と言われるように来年度からも頑張ります!



健康・スポーツ委員長  
本宮 勝美 さん

いろいろな行事のたびに区民の皆さまには温かいご協力をいただきました。

今後も地域の皆さんのパワーを大いに発揮できるように「まちづくり」ができることを願っています。



産業活性化委員長  
黒木 照章 さん

「おはよう」「元気だった?」

私たち産業活性化委員会で取り組んでいる平岩ふれあい朝市では、心のふれあいがたくさんあります。

「育て、平岩ふれあい朝市 永遠に」



生活環境・地域安全委員長  
児玉 達三 さん

委員長1年目でとても不安でしたが、委員会のメンバーや地域の方々のご協力をいただき、環境美化を行うことができ感謝しています。

【平岩まちづくり協議会～これまでの主な活動事業】

- ① 「新春凧あげ大会 IN 小倉ヶ浜」の開催
- ② 「平岩地区レクリエーション大会」の開催
- ③ 「平岩ふれあい朝市」の開催
- ④ 平岩地区の名所を巡る「健康づくり歩こう会」の実施
- ⑤ 地域を自らの手できれいにする「平岩クリーン作戦」
- ⑥ 放課後子ども教室(愛称「海がめ教室」)の運営
- ⑦ 小倉ヶ浜海水浴場の清掃やビーチハウスの管理



地域福祉委員長  
児玉 義雄 さん

3月には、防災・交通安全講習会を予定していますので、是非皆さん参加して下さい!

まちづくり協議会の活動を通して、「一人ひとりが周りの人たちのことを気遣える」そんな優しい地域になれるように、これから皆さんと一緒に頑張っていきます!





塩見まちづくり協議会会長  
松本 親則 さん

塩見まちづくり協議会も発足3年目を迎え、少しずつではありますが地域の方々に浸透してきたように感じられます。

昨年、日向市より農村交流館（旧農村婦人の家）の指定管理を受け、協議会の拠点となる場所ができ、活動においても塩見の歴史の新たな発見や他の地域に自慢できる食の発見と広がりを見せた一年となりました。

また、遊休農地の解消として、日向市と宮崎大学のご協力をいただき、ブルーベリー葉の試験栽培も取り組み始めたところでもあります。協議会を立ち上げてまだ3年です。これからもどんどん地域に入っていく、また、地域の方々の協力をいただきながら、この塩見地区を元気に盛り上げていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



副会長  
兼 事務部長  
高橋 浩之 さん

この間の取り組みで、地域の方との交流やイベント等の経験を積む中で見えてきたものもあり、それらを活かし、今後も、笑顔のあふれるまちおこしを続けていきたいと考えています。



事務局長  
佐藤 善彦 さん

まちづくりに携わって普段では経験できない出会いや感動、気づきがありました。これからも、塩見にいることを誇りに思い、一歩ずつ取り組みを進めていきます。



イベント部長  
鈴木 孝雄 さん

仕事の合同を見ての活動で苦労もありましたが、各イベント開催にあたっては、地域の方々にたくさんのご協力をいただき、改めて地域のつながりを実感することができました。婦人部会をはじめすべての方に感謝です。



産業部長  
伊達 忠亮 さん

部会としては、産業祭や農村公園清掃を行ってきました。イベント屋ではなく、塩見の産業紹介・交流のためにどんな一歩に至れるかが、部会の課題と考えています。



自然部長  
奈須 克悟 さん

部会では、塩見の自然を活かした竹細工教室や環境教室を行ってきました。このイベントを支えていただいた、新財市区や富島河川組合等たくさんの方のご協力に感謝いたします。



観光部長  
鈴木 秀幸 さん

これまで、主として城山景観整備を行ってきました。地域の皆さんとともに、これからも、定期的な草刈り作業等、出来る限りやっていきたいと考えています。



福祉部長  
黒木 敬二 さん

福祉部会は、子ども教室の運営に携わってきました。地域、学校、家庭のご協力により、どこにも負けない子供教室になりつつあります。今後も、塩見の特色を生かした活動ができるようサポートしていきます。

- 【塩見まちづくり協議会これまでの主な活動事業】**
- ①協議会活動の周知啓発～「協議会たより」の毎月発行と全世帯配布
  - ②活動拠点と体制の充実～「日向市農村交流館」の指定管理受託
  - ③遊休農地活用と自主財源の捻出～「ブルーベリー葉」ほ場の管理運営
  - ④塩見小学校にて「しおみっ子放課後子ども教室」を開設・運営
  - ⑤地域の宝や歴史を歩いて再発見する「塩見ウォーク」の開催
  - ⑥地域の農産物等売り込むため「日向市産業・商業まつり」への出店
  - ⑦地域の自然を学ぶ「塩見川かんきょう教室」の開催
  - ⑧地域のシンボルである城山公園の景観整備作業
  - ⑨地域の催しもの（栗尾神社例大祭等）への出店参加



東郷まちづくり協議会会長  
小川 澄雄 さん

協議会準備が大変ご苦労していた時期、まちづくりについて他人事のように考えていました。設立後、会長という重責を務めることになり、役員や各部会の皆様の協力で『東郷まちづくり』を進めることができました。

協議会が発足して7か月経過し、活動実績について、まちづくりに関心のある皆様には、5部会の活動を認めて頂けると思います。

『牧水の里の夏祭り』『秋祭り』では、実行委員会の努力は勿論ですが、前日準備の除草作業等のボランティアや、発生ごみの分別等に、参加頂いた各地区のごみ減量化推進員のご協力により、市民参加のイベントに成長したと感じています。

春には『つつじ祭り』を計画、実行委員会が立ち上げられようとしています。賑やかな祭りするには、東郷の皆様のご参加が必要ですが、祭りへの参加協力に加え、今後とも、協議会活動へのご理解・ご支援をお願いいたします。



副会長  
部甲 牧人 さん

私は、東郷町が好き！な子ども達でいっぱいになればいいなと思っています。みなさん、私たちと一緒に楽しく、まちづくりに参加してみませんか。



副会長  
川越 洋 さん

各部会のみなさんの頑張りで、初年度から計画通りの活動ができたと思います。今何が必要かを見極め、できるだけ楽しく少しずつ進めていくことに努力していきたいと思ひます。



事務局長  
木村 孝太郎 さん

地域の将来を見据え、各種課題の本質を深く掘り下げながら、会員の皆さんと語った夢の実現に一歩一歩近づきよう、一体となって活動して参ります。



青少年育成部長  
鈴木 浅夫 さん

青少年育成部会は、あいさつ運動と通学路の安全確保に努め、子ども達が安全で夢と希望を持って、心身ともに健やかに伸びゆくまちづくりを目指しています。



生活環境部長  
直野 あつみ さん

何よりも部会員の皆様の協力に心から感謝をしたいと思います。東郷町大好き人間の集まりです。これからも住み良いまちづくりを目指し、頑張ります。



福祉・健康づくり部長  
谷口 庄司 さん

福祉・健康部会では、東郷域に住む全ての方が、いつまでも安心して暮らせるように、福祉部門では『黄色い旗運動』を、健康部門では『歩き方講座』や『健康づくり講演会』を充実させていきます。



地域産業部長  
小田 貴広 さん

まちが活気づくると人が元気になる健康になる、住み良くなる。住んでいる僕達が何を発行していけば良いか考え、模索する。楽しく皆さんも参加してみませんか。



文化・広報部長  
福良 信一 さん

まち協の情報発信として、親しみやすい会報「絆」の発行に力を入れて取り組んでいます。原動力は、幅広い年代層で構成されたスタッフのチームワークです。

- 【東郷まちづくり協議会～主な活動事業】**
- ①児童・生徒の登下校時の見守りやあいさつ運動の実施
  - ②通学路調査の実施及び標識作成
  - ③まち歩きを行い、生活環境調査を実施
  - ④黄色い旗運動の実施
  - ⑤牧水公園にひまわりを植栽
  - ⑥文化講演会の実施、会報「絆」の発行





# おらが村 ~区長インタビュー vol.6

このコーナーは、市内に91区ある各自治区の区長さんにインタビューをし、地元の魅力を語っていただくコーナーです！

第6回目は、区長公民館長連合会、日知屋桜樹地区理事長であります梶木区長の日高八郎さんに梶木区の魅力を語っていただきました！

## ーQ.梶木区は、どんなところですか。

梶木区は、日向市と門川町の境目に位置し、10数年ほど前から新規世帯が増え、100世帯ほど増加しています。公民館や公園が地区の中心部にあるため、隔年で実施している運動会や文化祭への区民の方々の参加率も良く、大変賑やかな明るい地域です。

## ーQ.梶木区のおすすめのイベント、ユニークな活動などを教えてください。

梶木区には6社の神社があり、夏と秋にそれぞれ3社ずつ祭りを行っています。祭りではこども神輿や神楽、もちつきなどが行われ、区内に1か所残っているお旅所では、昼食が振舞われます。今年で3年目の活動になりますが、「日向市福祉のつどい」で実施されるもちまきもちの準備をお手伝いしています。婦人部をはじめ、毎年30名程の区民の方にご協力いただいています。年末には、財光寺の花屋さんのご協力の下、お正月用の花づくりをし、年に2回、区健康推進員主催でグラウンドゴルフ大会も実施しています。



今回インタビューに答えていただいた、梶木区・区長 日高 八郎 さん



グラウンドゴルフ、花づくりの際の梶木区民の皆さん

その他、区（自治会）への加入促進にも精力的に努めています。執行部の出す先進的なアイデア、独自に作成したチラシを持って、未加入世帯を訪問し、区加入のお願いに回っています。梶木区では、新規世帯が増え、区へ未加入の方もいらっしゃいます。梶木区には魅力あふれる方がたくさんいるので、ぜひ、仲間に入りたいだけ、その輪を広げて一緒に、より良い梶木区づくりに努めていきたいですね。

ー区民の皆さんから「ハちゃん」と呼ばれ親しまれている日高区長は、今年度で13期目のベテラン区長さんです。

梶木区は、区民の皆さんの助け合いに支えられている区であることが伝わってきました！日高区長、ありがとうございました！

## 編集後記

新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業の3地区がモデル期間を終え、来年度からいよいよ本格導入となります。これまで、地域のために活動に取り組まれている協議会の方々をご紹介することができていきましたが、今回、各協議会を代表して、役員の方からコメントをいただくことができました。皆さん、地域のことを本気で考え、何より、「楽しく」活動されている姿が印象的でした。さらに多くの方が地域活動の楽しさを知り、参加して頂けるよう、今後も協議会の活動内容を随時お知らせしていきます。(へな)

## 掲載記事を募集します！

市民協働課では、情報紙「協働のまちづくりニュース」で紹介する『協働の取組』に関する情報を募集しています。自薦・他薦は問いません！！

「これって協働かも？」と思ったら、市民協働課までご連絡ください。私たちが皆さんの活動をPRします！

【問合せ先】市民協働課市民協働係

☎0982-52-2111 (内線6254)



# 市民協働課掲示板 / まちづくり支援事業 紹介

## 平成25年度上半期企画提案事業が、出そろいました！

市民の皆さんが知恵を出し合い、地域の特色を活かして自ら企画・運営されたまちづくり事業に対し、審査会を通して補助金が交付される「日向市市民まちづくり支援事業」。

2月1日から15日までの募集期間中に応募のあった事業を、ご紹介します！

No.	事業名	団体名	事業概要
1	寺迫ひまわりコミュニティプロジェクト	寺迫ひまわりコミュニティプロジェクト実行委員会	休耕地を活用したひまわりや季節の花の栽培により、環境美化及び花いっぱいのもちづくりを推進することで、地域活性化、地域振興及び地域福祉力の向上、商工観光の振興につなげる。
2	さあ、始めよう 農業小学校	財光寺農業小学校	自然の仕組み、農業の役割等の食育の場として、休耕地を利用した農業体験活動。市内小学生を参加対象として、地域の方の協力を得ながら参加者自ら季節の野菜などを栽培し、自然の恵みの大切さを学ぶ。
3	第27回日向木挽唄全国大会	日向木挽唄全国大会実行委員会	日向木挽唄全国大会を2日間にわたり実施。日向木挽唄の伝承・保存及び普及に努める。また、全国から民謡愛好家が来場することにより、日向市の観光宣伝・地域の活性化につなげる。
4	『第9回日向七夕まつり』キラッと祭 in HYUGA～輝く願い 天まで届け～	日向七夕まつり実行委員会	市内の各保育園や幼稚園等から七夕飾りを募集し、日向市駅西口および東口に飾り付けを行い、吹奏楽演奏などのステージイベントや商店街と協力してスタンプラリーなども実施する。
5	第4回よりどり地鶏フェスターうめもんサミット in ひむかー	日向ぼっこ実行委員会	地場産品を使った料理コンテストイベント。日向市の豊かな食材や食文化を活かした料理で広く日向市をPRする。また、イベント前日に前夜祭を開催したり、イベント後1週間を「地鶏フェスタウィーク」とするなど、総合的なグルメフェスタとして開催する。
6	神楽と神話のアートフェスティバル カムヤマト	カムヤマト実行委員会	宮崎に伝わる神楽と神話をテーマにしたアートイベント。神話を知識として学ぶのではなく体で感じるため、神話や神楽のエッセンスを取り入れたダンス、音楽、映像などのステージイベントを行う。また、神話等にヒントを得たアートの展示も行う。
7	～お笑い発祥の地・宮崎～ 第五回 ひむかの国こども落語全国大会	「こども落語全国大会」実行委員会	小学生～高校生を対象としたこども落語の全国大会を2日間にわたり実施する。2日目にはプロの噺家の寄席を開き、プロの芸を披露する。また、市内の公民館等におけるプレイベントを開催し、来場者アップに努める。
8	スタンプラリーはしご酒大会	宮崎県社交飲食業生活衛生同業組合 日向支部	3,000円のチケット(スタンプラリー券)を購入してもらい、制限時間内に4店舗を回遊するスタンプラリーを行う。回り終えたスタンプラリー券は、イベント参加店舗で使用できる飲食券や自転車などの景品が当たる抽選会での抽選券として使用する。
9	平成25年度日向十五夜祭り	日向十五夜祭奉賛会	県北三大祭りの一つ日向十五夜祭りの伝統継承及び保存。市内外の個人・団体による演芸披露、各区舞踊隊による十五夜踊り。
10	第124回細島みなと祭り	細島みなと祭り実行委員会	『みなと祭り』の文化・伝統の継承及び保存、細島地域の活性化、観光資源としてのアピール。東若・南若太鼓隊、水族館(タッチングプール)、ふれあいカラオケ大会、遊覧バス、他地区小学生招待事業など。

これらの事業の「公開プレゼンテーション審査」が下記のとおり開催されますので、興味のある方は是非お越しください！

日時:平成25年3月31日(日)午後1時～(予定)

会場:日向市役所 本庁2階 委員会室

お問い合わせ先:日向市市民協働課 市民協働係

TEL 52-2111(内線6251)





## ワインとクイズで異文化理解・国際交流!!

### 「日向市国際交流まちづくり推進協議会」



世界5カ国のワインを味わいながら、それらの国に関するトリビア(雑学)クイズに答えて、異文化理解、国際交流を深めていただくことを目的に「ワールド・ワイン&トリビア・ナイト」が2月2日(土)、市文化交流センター小ホールで開催されました。

当日は、約80人の市民の皆さんと県内在住の外国人の皆さんが参加し、カナダ・アメリカ・フランス・ドイツ・ポルトガルの「歴史」や「地理」、「習慣」などといったジャンルのクイズに挑戦しました。

会場は、終始とても和やかな雰囲気の中でクイズによる異文化理解はもとより、参加者同士の交流も深められました。

日向市国際交流まちづくり協議会では、これからも市民の皆さんが楽しみながら異文化理解・国際交流を深めることのできる事業等を計画していきます。

**日向市国際交流まちづくり推進協議会**  
【事務局：市役所市民協働課内】TEL52-2111(内線6251)



## 日向市ひまわり基金事業推進協議会市民活動団体リーダー養成事業 第7期受講生募集!!

日向市ひまわり基金事業推進協議会では、市内における公益的活動を担う人材の育成を目的に、日向市市民活動団体リーダー養成事業の第7期受講生を募集します。あなたもまちづくりについて楽しく学びませんか?

- 実施期間 平成25年6月～平成27年3月(2ヶ年)
- 応募資格 市内に在住または勤務している人、もしくは市内の市民活動団体に所属している人で、事業期間中講座に積極的に参加できる方。
- 募集人数 15名
- 受講費用 無料
- 受付期間 平成25年3月1日(金)～5月31日(金)  
(定員になり次第、受付を終了させていただきます)

- 内 容
- 【1年目】
- ①市内外において、各分野(地域づくり・福祉・観光・医療等)で市民活動を展開されている団体のリーダーによる講話
- ②市民活動の現場視察または先進地視察研修
- ③受講生同士による意見交換
- 【2年目】
- ①1年目で学んだことの振り返り、ワークショップ
- ②年間テーマの決定・先進地視察研修
- ③研修報告等の実施
- 申し込み先  
日向市市民協働課 TEL52-2111(内線6251)

## 日向市全市公園化事業補助金 沿道や公園等の緑化を推進します!!

市では、日向市全域を公園・憩いの場として捉え、市民の皆さんとともに、緑豊かな美しい都市の形成を図る「全市公園化事業」を推進するため、日向市全市公園化事業補助金を交付しています。助成の対象となる方は、緑化を推進する個人及び団体で、補助内容は以下のとおりです。

- ①生垣植栽事業  
国道、県道、市道に隣接する生垣にかかる樹木の植栽  
※補助額 個人3万円 団体5万円(いずれも上限額)
- ②沿道修景事業  
沿道修景に寄与する国道、県道、市道に隣接する農地及び空き地にかかる樹木及び花の植栽  
※補助額 個人3万円 団体5万円(いずれも上限額)
- ③公園等緑化事業  
私設公園(市民へ無料開放するものに限る。)の緑化整備等  
※補助額 個人、団体ともに10万円(上限額)  
補助対象費用は、樹木の苗・花の種子(球根)の購入費用です。  
事業について、興味のある方は市役所市街地整備課・公園街路係までお気軽にご連絡下さい。

(TEL0982-52-2111)  
内 線 2612・2714

写真は、平成24年度に実施した北町1区の「おかめ桜」植栽の様子です。



詳しくは「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください!!

日向市 協働のまちづくり

検索